

3 造成土地管理事業の概要

造成土地管理事業は、土地造成整備事業の事業収束に伴い、土地等の資産等を引継ぎ、土地の分譲・貸付け・管理等を平成28年度から行っています。

現在※、当事業では未処分土地を約184ヘクタール保有しており、人口約10万人の千葉ニュータウンや、臨海部の工業用地等で分譲を行っています。また、貸付土地は約123ヘクタールで、人口約2万6千人の幕張ベイタウンの住宅用地や、約60の事業所に商業・工業等用地として貸付けています。

幕張新都心では、約500社の企業が立地し、日々約23万人の人々が活動する街に成長しており、現在も更なる発展を目指し、事業が展開されています。

「若葉住宅地区」では、新たな住宅地区「幕張ベイパーク」のまちづくりが進んでおります。平成31年春には最初の超高層マンションへの入居が開始、商業施設や認可保育園、オフィス施設等が開業しました。2棟目の超高層マンションを、令和3年の入居に向け建設しており、併せて、クリニックモール、スポーツ施設等が開業する予定です。多世代が街の中で心地よく過ごすことができる環境を創出し、千葉県のベイエリアの振興と、幕張新都心のまちづくりの更なる進化を目指します。

「拡大地区」では、JR京葉線の新駅設置に向けた取組が進んでいます。この新駅については、令和2年秋に着工を予定しており、令和5年の開業を目指して、事業が進められています。新駅の開業により、幕張新都心内にある海浜幕張駅と相まって街の回遊性が高まり、更なる発展が見込まれます。

今後も、県内のまちづくりや企業ニーズなどを踏まえ、土地の分譲等に取り組んでまいります。

※… 平成31年3月31日時点



主な事業

